

授業科目	論理国語			2025 年度 国語科シラバス
学年（コース）	3 学年	探究（文系）	単位数 3 単位	
授業内容	<p>○近現代の論理的な文章を読解し、的確な言葉を用いて考えを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語彙などの基本的な知識、背景知識を習得し、読解に活用する。 ・具体的事例と筆者の意見、因果関係や対比構造など論理の展開を理解して内容を把握し、筆者の主張・要旨を読み取る（読解のスキルを高める） ・社会的な話題の文章を読んだり、資料を活用したりして、得た情報をもとに自らの主張を再構築し、言葉で表現するトレーニングを積み上げる（思考力・表現力の強化・向上）。 ・文章記述や発表、議論を通して考えを表現し合い、また人の意見を理解し、お互いの考えを深め合う（ペアワーク・グループワーク）。 ・大学入試を意識して問題演習、小論文等を随時取り入れていく。 ・文系は3単位で行うので週1時間投げ込み教材を使って要約・記述の問題演習を行っていく。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的文章を正確に読解する力を身につけている。そのための要約力・質問力・先読み力などのスキルを修得できている。 ・自分の考えを論理的に表現することができる。そのために書くこと・話すことを積極的にできる態度を1年間で向上させている。 ・ものの見方や考え方を深めるとともに、人と理解し合い人生を豊かにする、自らのキャリアについて授業を通じて考えるなどの態度を1年間で向上させている。 ・自らが考えて、言語運用能力を高める、読解スキルを向上させるなど主体的に学習する態度と、仲間と協力する・読書やICTを利用した対話的な学習を行えるようになっている。 ・自分なりの進学目標に沿った学習方略を立てられること。 			
評価方法	<p>① 「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価する。①については定期考査、小テストの結果で評価。加えて、自主的な学習を評価に加える。②については定期考査（記述問題）と課題の内容で評価。課題を積極的に行うことで思考力・表現力を高めることも加点対象とする。③はリフレクションシート（授業ごとに提出）の内容を精査し、また授業への取り組む姿勢、ペア・グループ活動での貢献度、課題やノート等の提出状況で評価する。特に、リフレクションシートにおける自己評価、相互評価を重視し、評価活動によって主体性を高めることを目標とする。</p>			
使用教材	<p>教科書 「精選論理国語」（東京書籍）（継続使用） 副教材 「新共通テスト対策 決戦現代文完答 22+6」（尚文出版）</p>			
その他	<p>大切なのは教科書や教材の内容を覚えることではなく、授業を通じて語彙力、背景知識を増やし、表現力、思考力、判断力などの言語運用能力と読解スキルを高めることです。1・2年次に行った「論コミ」や「論理エンジン」や小論文・分析・推論の授業や教科書、問題集を通じて力に変えていく授業になります。また、教材についてはみなさんの習熟状況に応じて修正する可能性があること、投げ込みの教材を使用することを付記します。</p>			

授業科目	論理国語			2025 年度 国語科シラバス
学年 (コース)	3 学年	探究 (理系)	単位数 2 単位	
授業内容	<p>○近現代の論理的な文章を読解し、的確な言葉を用いて考えを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語彙などの基本的な知識、背景知識を習得し、読解に活用する。 ・具体的事例と筆者の意見、因果関係や対比構造など論理の展開を理解して内容を把握し、筆者の主張・要旨を読み取る（読解のスキルを高める） ・社会的な話題の文章を読んだり、資料を活用したりして、得た情報をもとに自らの主張を再構築し、言葉で表現するトレーニングを積み上げる（思考力・表現力の強化・向上）。 ・文章記述や発表、議論を通して考えを表現し合い、また人の意見を理解し、お互いの考えを深め合う（ペアワーク・グループワーク）。 ・大学入試を意識して問題演習、小論文等を随時取り入れていく。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的文章を正確に読解する力を身につけている。そのための要約力・質問力・先読み力などのスキルを修得できている。 ・自分の考えを論理的に表現することができる。そのために書くこと・話すことを積極的にできる態度を1年間で向上させている。 ・ものの見方や考え方を深めるとともに、人と理解し合い人生を豊かにする、自らのキャリアについて授業を通じて考えるなどの態度を1年間で向上させている。 ・自らが考えて、言語運用能力を高める、読解スキルを向上させるなど主体的に学習する態度と、仲間と協力する・読書やICTを利用しての対話的な学習を行えるようになっている。 ・自分なりの進学目標に沿った学習方略を立てられること。 			
評価方法	<p>①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価する。①については定期考査、小テストの結果で評価。加えて、自主的な学習を評価に加える。②については定期考査（記述問題）と課題の内容で評価。課題を積極的に行うことで思考力・表現力を高めることも加点対象とする。③はリフレクションシート（授業ごとに提出）の内容を精査し、また授業への取り組む姿勢、ペア・グループ活動での貢献度、課題やノート等の提出状況で評価する。特に、リフレクションシートにおける自己評価、相互評価を重視し、評価活動によって主体性を高めることを目標とする。</p>			
使用教材	<p>教科書 「精選論理国語」（東京書籍）（継続使用） 副教材 「新共通テスト対策 決戦現代文完答 22+6」（尚文出版）</p>			
その他	<p>大切なのは教科書や教材の内容を覚えることではなく、授業を通じて語彙力、背景知識を増やし、表現力、思考力、判断力などの言語運用能力と読解スキルを高めることです。1・2年次に行った「論コミ」や「論理エンジン」や小論文・分析・推論の授業や教科書、問題集を通じて力に変えていく授業になります。また、教材についてはみなさんの習熟状況に応じて修正する可能性があること、投げ込みの教材を使用することを付記します。</p>			

授業科目	地理探究				2025年度 地歴公民科シラバス
学年・コース	3学年	探究(理系)	単位数	3	
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地理総合で扱った統計地理の復習をしながら、もう少し詳しく学習をする。 ・資源と産業・交通・通信・観光・貿易 ・人口と人口問題 ・村落と都市，都市問題 ・生活文化・宗教，民族 ・現代社会の地域区分（地誌） ・問題演習 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的な事象に関する基本的な知識が身についている。 ・現代社会が抱える諸課題について，その原因を地理的な視点から考察できる。 ・統計やデータから必要な情報だけを読み取ることができる。 ・世界各国の風土や文化について，地理的な視点から理解するだけでなく，それぞれの国が抱える諸課題について考察することができる。 ・日本の風土や文化について，地理的な視点から理解し，日本の特徴について説明できる。 ・現代世界の抱える諸課題について，当事者意識をもってその解決の方法について考察することができる。 				
評価方法	「知識・技能」(40%)，「思考・判断・表現」(30%)については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については，提出物，小テスト，振り返りシート等をもとに評価をする。(30%)				
使用教材	教科書 『新詳 地理探究』(帝国書院) 『新詳 高等地図』(帝国書院) 副教材 『新詳地理資料 COMPLETE』(帝国書院) 『ウィニングコンパス 地理の整理と演習 2025』(とうほう)				
その他					

● 進捗表

学年・コース	科目	単元	項目	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月			
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
3年 探究	地理 探究 理系	交通・通信	世界を結ぶ交通・通信・貿易	■	■																				
			人口・村落・都市	世界の人口																					
				人口問題																					
		村落と都市																							
		都市・居住問題																							
		生活文化・民族	生活文化																						
			民族と宗教																						
			現代世界の国家																						
			民族・領土問題																						
		地誌	東アジア																						
			東南アジア																						
			南アジア																						
			西アジア																						
			アフリカ																						
			ヨーロッパ																						
			ロシア																						
			アングロアメリカ																						
			ラテンアメリカ																						
オセアニア																									
				1学期中間試験		1学期期末試験		夏休み		2学期中間試験		2学期期末試験		冬休み											

授業科目	総合理科			令和7年度
学年・コース	3 学年	探究・文系	単位数	3
理科シラバス				
授業内容	<p>化学基礎</p> <p>第1編 物質の構成</p> <p>原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解させる。また、物質の性質については化学結合との関係を理解させ、物質について微視的な見方ができるようにする。</p> <p>第2編 物質の変化</p> <p>物質を学習した後、化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応から化学反応に関する基本的な概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。</p> <p>生物基礎</p> <p>第1部 生物の特徴</p> <p>生物の多様性と共通性の視点を身につけ、生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。</p> <p>第2部 遺伝子とその働き</p> <p>生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解する。</p> <p>第3部 生物の体内環境の維持</p> <p>生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について認識する。</p> <p>第4部 生物の多様性と生態系</p> <p>生物の多様性と生態系について観察、実験などを通して探究し、生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識する。</p> <p>探究活動</p> <p>観察・実験などを行い、科目を横断し科学的に探究する力を養う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学と生物の基本的な概念や原理・法則の理解から科学的な見方や考え方の資質・能力を向上させ、自律した学修者を目指す。 大学入学共通テストおよび私立大学の入試問題を解く力をつけること。 			
評価方法	<p>知識・技能（40点）…定期試験、小テスト</p> <p>思考力・判断力・表現力（30点）…定期試験、授業内活動</p> <p>主体的に学習に取り組む姿勢（30点）…授業内活動、振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。</p>			
使用教材	<p>化学基礎(東京書籍) 生物基礎(数研出版)</p> <p>ニューグローバル化学基礎(東京書籍) リードα生物基礎(数研出版)</p> <p>チェック&演習 化学基礎(数研出版) チェック&演習 生物基礎(数研出版)</p>			

